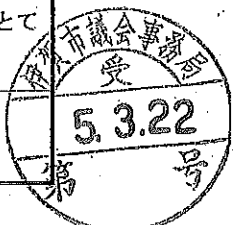


伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様		報告者	議員名 赤堀 久実
研修会名	第26回アメニティーフォーラム		
日時	令和 5年 2月 10日 13時00分 ~ 2月 12日 13時30分		
場所	びわ湖大津プリンスホテル		
<p><b>【研修の成果】</b></p> <p><b>【基調講演】</b> しっかり聞こう！「誰も取り残さない社会、みんなで痛みを分け合う社会とは」 認定 NPO 抱樸理事長 奥田知志氏</p> <p>リーマンショック後に若者のホームレスが増加。ホームレスから抜け出すには、結局は、人と人とのつながりが大事。いくら住む場所を提供してもその人がその気にならなければ、抜け出すことはできない。その人の生きていく意味、動機、勇気、物語が大切で、この人のために自分ができること、この人のためだったら頑張れるという、心の絆が人を変える。</p> <p><b>【公共交通の課題、楽しいアイデアで解決策が見つけられたらと】</b> DPI 日本会議 佐藤 聡氏</p> <p>&lt;日本とアメリカの違い&gt;1. 健常者と場を分けない（インクルーシブ）①アメリカ…施設の入場から退場まですべて健常者と同じルート、通路・トイレ・エレベーター・車椅子席⇒日本は車椅子は別の入り口、席も隔離。②車椅子席のチケットはどこでも買える⇒日本は車椅子専用電話・専用窓口 2. 法的整備 ①席数(0.5%以上)、サイトラインの確保など基準あり⇒日本のバリアフリー法には基準なし(2015年まで)⇒世界に大きく遅れた日本だが、オリパラで進展した。新国立競技場・・・健常者と障がい者も同じルートにした。設計計画の段階から入って意見が言えた。車椅子ユーザーが子どものおむつを交換できる台にした。駅もエレベーターを増やした。また、段差と隙間がないようにしたので一人で乗り降りができ、駅員さんを配置しなくても良い。新幹線のバリアフリー化も進んだ。⇒どんな計画でも当事者の意見を聞くことの大切さを実感。</p> <p><b>【強度行動障害のある人を支える仕組みに未来はあるのか】</b> 社会福祉法人八ヶ岳名水会 理事長 長田和也氏</p> <p>&lt;行動障害の方を支える現状&gt;25年かけて、入所者の半数以上を GHへ移行し地域での生活を目指した結果⇒重度障害のかたが入所に残ることとなる。さらに、地域での困難ケースや他圏域での受け止めが難しいケースを受ける法人としての思いが職員を苦しめ離職者が増える(3年で50人)。強度行動障害者支援者養成研修と出会い変化が…これまで個人のスキルに頼った支援からチームでの支援に変更。①支援対象の範囲②地域で受け止めるための仕組みを③そのための専門的な研修のさらなる充実。山梨では行動障害を持つ方を地域で支えるため、自立支援協議会の中に強行プロジェクトチームを発足し、県と共にできることをはじめています。強度行動障害者の方々の地域理解がされていないために、その人にあった支援が難しい現状である。国の法整備とともに、研修などを実施していくことで環境整備につながると実感しました。-</p> <p><b>【まとめ】</b> アメニティーフォーラムで国会議員と共に意見を言い合法整備につなげていっていることは、とても素晴らしいし、当事者の方々の本音を聞かせていただける場となりました。</p>			
費用	旅費： 27,657円	研修参加費： 15,000円	合計： 42,657円





領収書等添付用紙	議員名	赤堀久実
調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> (該当項目に○をつけてください。)		

領収書  
RECEIPT



びわ湖大津プリンスホテル  
〒520-8520  
滋賀県大津市におの浜4丁目7番7号  
TEL. (077)521-1111 FAX. (077)521-1110  
www.princehotels.co.jp/otsu/

お名前 赤堀 久実 様

お部屋番号 1409 ご人数 3

到着 2023/02/10 ご出発 2023/02/12

月付	明細	部屋番号	料金	お支払等	備考
02/10	ご宿泊代2泊分 1名様	1409	19,757	*	

税別金額 19,757 請求金額 19,757 (内消費税 0)

印紙税申告  
納付につき  
大津市  
認済

領収書等添付用紙	議員名	赤堀久実
調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/>		(該当項目に〇をつけてください。)

領収書

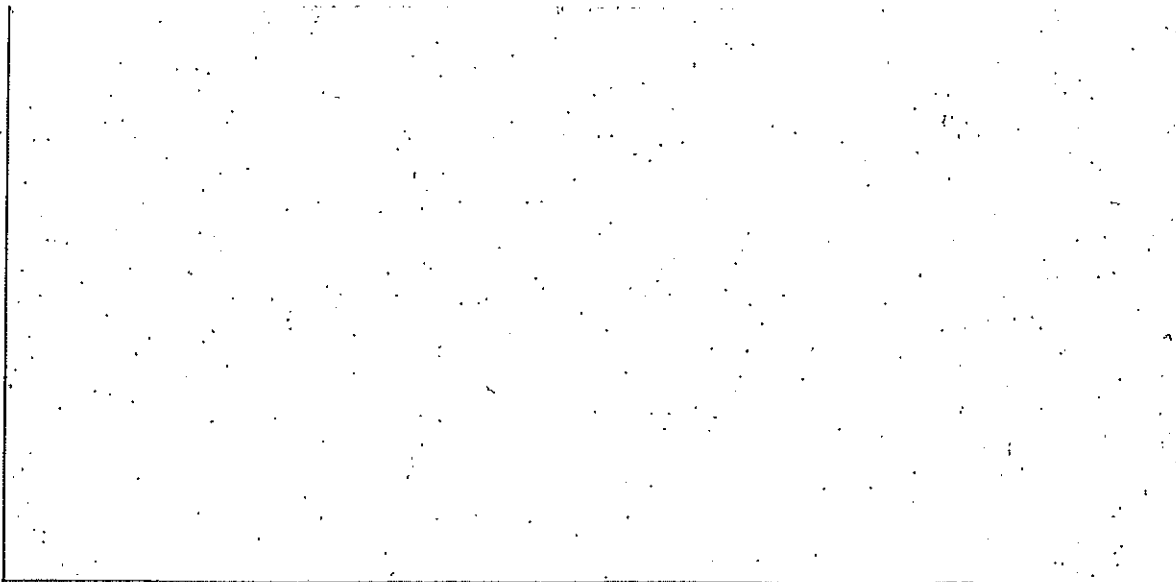
赤堀久実様

金 15,000 円

但し アメニティーフォーラム26 参加費等として

2023年 2月 10日 上記正に領収いたしました

アメニティーフォーラム実行委



2月10日(金)

# 最新版

第26回アメニティフォーラムは「詩劇」から始まります！

13:00 詩劇① 詩を奏でる ～俳優のことはとリズムを刻む身体が呼応する詩の世界～

13:20 【御代田太一からのオープニング・レポート】

アメニティのプログラムのためのボストンに出張してきました！～その内容をレポートします～ 御代田太一(グローバル理事兼付企画室室長)

14:00 【基調講演】共生社会の話し・はじまり・始まり

15:15 しっかり聞こう！「誰も取り残さない社会、みんな痛みを分け合う社会とは」 奥田知志(認定NPO法人抱樞理事長)

15:25 福島智さんのお母さんをモチーフにした映画「桜色の風が咲く」が完成しました。

16:40 福島智(東京大学先端科学技術研究センター教授) 松本准平(映画「桜色の風が咲く」監督) 小室等(ミュージシャン) 進行は、山上徹二郎(バリアフリー映画研究会副代表)です。

16:50 映画「桜色の風が咲く」(バリアフリー版)の上映を行います。

18:50 休憩

20:00 君らはヨシモトぐらい面白い！芝居・「妖怪バリアーをやっつける！」インクルーシブ劇団 夢屋(自立生活夢宙センター)

20:30 国土交通省政務官・古川康(衆議院議員)さんをお迎えして！～公共交通の課題、楽しいアイデアで解決策が見つけれたらと～

20:40 伊藤みどり(全国移動サービスネットワーク事務局) 岡部浩之(病心会副理事長) 古川康(自民党・衆議院議員) 進行は、蒲原基道(元厚生労働事務次官)さんをお願いしました。

22:00 詩劇② 詩を奏でる ～俳優のことはとリズムを刻む身体が呼応する詩の世界～

22:15 共に育つ時間と場所が、豊かな社会を創ると思うのです。～ゆーかり保育園の取り組みから、私たちが学ぶこと～

古川康(自民党・衆議院議員) 宮路拓馬(自民党・衆議院議員) 尾上浩二(DPI日本会議副議長) 水流源彦(第24回糸賀一雄記念賞受賞・ゆーかり理事長)

23:30 ※この時間帯にご登壇頂ける方々、アメニティならではのだと思いませんか。大切なインクルーシブのお話しが展開されます。

2月10日(土)

8:30 ジュネーブの熱気をお伝えします！ 国連障害者権利条約・対日審査の総括所見の報告

大河内直之(東京大学先端科学技術研究センター特任研究員) 崔榮燦(DPI日本会議議長) 田中正博(全国手をつなぐ育成会連合会専務理事) 宮路拓馬(自民党・衆議院議員) 進行:山口麻衣子(全国地域で繋がるネットワーク理事)

9:20 強度行動障害のある人を支える仕組みに、未来はあるのか？～頑張っても、頑張っても越えられない何かがあり、支援技術だけの課題にはして欲しくない～

林晃弘(フラット理事長) 長田和也(ハケ岳名水会理事長) 津曲共和(厚生労働省障害福祉課長) 進行は、福島龍三郎(全国地域生活支援ネットワーク理事)さんに。

10:30 日本博を契機に向上する障害者の文化芸術へのアクセシビリティ～誰もが文化芸術とともに暮らせることの大切さを～

杉野可愛(文化庁文化経済・国際課新文化芸術創造室長) 太下義之(文化政策研究者・同志社大学教授) 曾根直樹(日本社会福祉事業大学准教授)

10:40 進行は、文化から福祉にやって来た西川賢司(グローバル芸術文化担当理事)さんに。

12:00 休憩

13:00 改正障害者総合支援法について ～今回の改正で、地域生活はどのように進むのか～

講演 辺見聡(厚生労働省障害保健福祉部長) 指定討論者①水流源彦(全国地域生活支援ネットワーク理事長) ②尾上浩二(DPI日本会議副議長) 進行:丹羽彩文(社会保障審議会障害者部会委員)

15:30 村木厚子(津田塾大学教授) 高原伸幸(全国地域生活定着センター協議会長) 矢田具彥之(厚生労働省障害保健福祉部企画課長) 進行は、元埼玉県立大学学長の佐藤造さんです。

15:40 夢のような世界への期待？ それとも置いていかれる不安？ ～誰一人取り残されなない、人にやさしいデジタル社会の実現に向けて～  
土生栄二(内閣官房内閣審議官兼デジタル田園都市国家戦略実現会議事務局長) 講演を受けて質問です！ 牛谷正人(グローリー理事長) 大原裕介(ゆうゆう理事長)

16:55 詩劇③ 詩を奏でる ～俳優のことはとリズムを刻む身体が呼応する詩の世界～  
17:00 作る法律、見直す法律！ ～障害者基本法の見直し・高次脳機能障害者支援法の制定・2025万博に障害者の芸術を～  
17:05 衛藤晟一(自民党・障害児者問題調査会顧問) 山本博司(公明党・障害者福祉委員会顧問) 田畑裕明(自民党・厚生労働部会長) 高木美智代(公明党・顧問)

21:20 指定討論者の久保厚子(全国手をつなぐ育成会連合会・会長) ② 藤巻修(東京徳恵医科大学教授) ③ 石川准(内閣府障害者政策委員会委員長) 進行は、野澤和弘(神奈川大学副学長)さんをお願いしました。

18:20 休憩  
19:30 バリアフリー演劇「Touch～孤独から愛へ」東京演劇集団風

21:45 昨年の公演以来、たくさんの「もう一度、観たい」という声があり、アメニティーフォーラム事務局に寄せられました。

21:50 詩劇④ 詩を奏でる ～俳優のことはとリズムを刻む身体が呼応する詩の世界～

23:05 アタートーク 以前にこの芝居を観て、衝撃を受けました！  
野澤和弘「この感動を言葉にできないまま、ここにいる」(神奈川大学副学長) 江原早希「バリアフリーという意味を探し続ける」(東京演劇集団風 演出)

23:15 村木太郎「私は芝居が好きなんですが、そういう立ち位置から」(大正大学地域情報研究所教授) 進行は、竹嶋信洋(ベスタサポート代表)さんに。  
公開同窓会！ 懇話を飲みながら！ ※手話通訳はありません

23:05 同級生の様々な人生の選択があった。今、どんなことを考えているのか、公開で語り合います。題して、「僕らはいつも、旅の途中！」  
御田太一(グローブの教養施設で働いて、これが中々面白いんだよ) 青木凌(法学部を卒業してパブリックな金融機関で日々働いております) 福田開史(厚生労働省に就職しました。このフォーラムには大先輩が多いので緊張しています)

24:15 山田彩城(戦略コンサルティング会社)に就職後、がん創業スタートアップへ転職してみてもいいかなと、進行は、山下耕三さん(自立生活夢見センター/JIL代表)と、下里晴朗さん(ほっと未来SOUZOU管理運営)で。  
※唯一の心配は、こんな時間に私たちの話を聞いてくれる人はいるかということ。しみじみと、ご期待ください。

3 2月12日(日)

8:45 がんの治療を受けながら生きがいをもって生きることの難しさ ～前向きな心を取り戻すために、それぞれにできること～  
伊原和人(家族の立場から) 厚生労働省保険局長) 金森耀子(本人の立場から) グローブ特別職能老人ホームふくらま主任看護師  
安藤よし子(本人の立場から) 元厚生労働省人材開発統括官) 進行は、岡山慶子(朝日エール会長、「患者の心を見守るのか」の著者)さんです。

10:00 鼎談！ 新しい貧困と孤独の中で、私たちが探しているもの ～お互いに伴走しながら生き延びる人生を～  
奥田知志(徳島NPO法人代表理事) 齋藤誠一(グローブのたに園施設長) 村木厚子(津田塾大学客員教授)

11:15 これからの社会保障の話聞こう！ ～樂觀でもなく悲觀でもない、そこに迫る2040のデータから考える～  
伊原和人(厚生労働省保険局長) 講演を受けて質問です！ 岩上洋一(全国地域で暮らすネットワーク代表) 高木美智代(公明党・顧問)

12:40 昨年を引き続き、若者で締めましょう！ ～芝居もあってシンポジウムもあって、そんなことを一緒に学べるアメニティーフォーラムのプログラムは楽しかった～  
蝦名悠(那、大学時代はラグビー一歩です) 渋谷愛(東京演劇集団風、役者) 中曾根鈴音(STEPえどがわ職業訓練権利擁護担当) 進行は、安藤よし子(元厚生労働省人材開発統括官)大先輩をお願いしました。

13:30 糸賀一雄記念賞音楽祭が同じ大津プリンスホテルで行われます。是非、お楽しみ下さい！ 総合プロデューズ 小室等(ミュージシャン)

14:30  
16:00



8:30 ~ 10:30  
心と身体  
の  
ニュートラルを知る  
ワークショップ  
会場:コンベンションホール(水深6  
(定員15名))

アメニティーフォーラム26

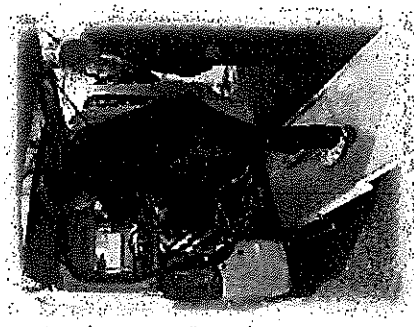
2023,2,11

## 強度行動障害のある人を支える仕組みに、 未来はあるのか？

～頑張っても、頑張っても越えられない何かがあり、  
支援技術だけの課題にはして欲しくない～

全国地域生活支援ネットワーク

福島龍三郎



アメニティフォーラム26

# 移動サービス・移動支援の しくみと課題

 NPO法人 全国移動サービスネットワーク

事務局長 伊藤みどり